



The Friendship Force of Western Tokyo

No. 003
2003
March



2003年予定

総会

3月29日(土) 11時30分
ホテル・ザ・エルシー 龍皇
(終了後 昼食を兼ね懇親会)
問合せ先 佐原 042-795-2245

受け入れ

アトランタ 5月9日(金)~16日(金)
問合せ先 石井 044-852-5231

渡航

韓国 10月10日(金)~14日(火) (予定)
問合せ先 石田 042-795-5115

キプロスクラブ受入れ

ED 高垣 孝

2002年7月16日(火)～23日(火)まで、キプロスクラブのアンバサダー26名を13家庭で受け入れました。今回こちらの受入れの都合で、20名まで減らすように申し出たのですが、先方は既に早くから参加者を募集して決めてしまったので、どうしても26名受け入れて欲しいという要望があり、東京クラブからも3家庭の応援を依頼し、受入れが決まりました。

一行の滞在日程は次の通り実施されました。

- 16日:成田空港着、
バスで東京見物後つくし野駅でマッチング
- 17日:自由行動
- 18日:箱根バスツアー
- 19日:町田市内ツアー
- 20日:自由行動
- 21日:歓迎パーティ
- 22日:自由行動
- 23日:愛知クラブへ移動

今回、到着日が台風にあたり、その後は猛暑でかなり双方バテ気味となりましたが、お蔭様で何とか無事に愛知クラブにバトンタッチできました。各イベントも大過なく施行され、特にパーティではキプロスの歌や踊りも披露され、大変盛りまりました。今回の反省点として、

1. 暑い夏の時期の受入れは、できるだけ避けること(今回は先方側の選択肢が多くなかった)。
2. パーティ会場は制約が多く、変えた方がよいこと。
3. 箱根バスツアーは事前にバス会社と段取りをよく打合せておくこと。

各ホストファミリーでもそれぞれ楽しい思い出ができたようです。キプロスクラブ会長からも各ホストファミリーの厚いおもてなしに感謝の礼状が来ており、2004年の春には是非キプロスへ渡航して欲しいという誘いが来ている程です。



ホスト宅でバーベキュー

またこの場を借りて東京クラブの薦ヶ谷様、水野様、中川様には今回の受入れをご快諾・ご協力いただき、あらためて厚く御礼申し上げます。これを契機に、今後も近隣クラブとの協力体制ができることを期待する次第です。



日本文化体験

初のアンバサダーとED報告



須藤・福岡

ED 椰川 善一

17/96

大草原を飛び跳ねる可愛いカンガルーの群れと、マレーブリッジ・ニューキャッスル両クラブのホストファミリーの愛情あふれる親切のおかげで、記念すべき西東京クラブ初のアンバサダー旅行は、忘れ難い大成功となりました。

17名のアンバサダー全員が、FFの素晴らしさを再認識すると共に、クラブにとっても、また私にとっても、貴重な初めての交換を経験できました。双方のEDが準備した行事や行程は、特に問題もなくすべて下記の通り遂行することが出来ました。

- 10/5(土) 午後6時半成田空港に集合。8時15分発のカンタス180便にて豪州へ。
- 10/6(日) 40分遅れて午前8時過ぎメルボルン到着。国内便へ乗換え、無事午前10時前にアデレードに到着。会長とED夫妻の歓迎を受け、バスでマレーブリッジへ。マッチングのあと、市庁舎にて歓迎の昼食会。副市長の挨拶に引続き佐原会長がスピ

一チ。翌日のローカル紙に写真入りで報道された。

10/7(月) 11 家族のホストと共に、全員が郊外の草原の中にあるポーブ家に集まり、オーストラリア式BBQパーティ。周囲には野生のカンガルーは勿論、アルパカ、馬、エミューなど不思議な鳥が一杯。

10/8(火) 午前8時半出発で南極海沿いのリゾート地、ヴィクター・ハーバーとグールワへ、更にペリカンと戯れながら世界遺産の大砂洲クローン巡航クルーズ。マレー川河口のマレーマウスを見物、ワイナリーを経て帰宅。

10/9(水)・10/10(木)の両日は自由行動。ホスト同士で合流したり、デイホストとスポーツ、クラブ、買物に興じたり、野生動物園でコアアラを抱いて、カントリーライフを満喫。

10/11(金) 西東京クラブ主催のサヨナラパーティをマレー川沿いのレストランで開催。両会長が「FF誓約」を読み上げたあと、記念品や旗の交換を行う、その後盆踊りと日本の歌を披露、祭用のハッピーをホスト全員に寄贈。マレーブリッジの夜は興奮に包まれた。



マレーブリッジで記念植樹

10/12(土) ユーカリの記念植樹を終えバスでアデレード空路シドニーへ。空港には昨年9月に我々がホストしたニューキャッスルの旧友たちが出迎え。シドニー市内を経由して、夕方ニューキャッスルへ到着。マッチング後、ホスト宅へ。

10/13(日) 全日自由行動。

10/14(祝) シドニー市内観光。ボンダイ・ビーチでのホストのランチやショッピングを楽しむ。バスで空港に着き、ホストと再会を約束して別れを惜しんだ。

10/15(火) 午後 10時 15 分にシドニー発、定刻 6 時半

に成田に帰着、アンバサダー各位は大満足の思い出を胸に家路に着いた。



マレーマウスにて全員集合

今回の交換を通して滞在先の自然に囲まれた悠然たる生活ぶりに感銘を受けた。特にマレーブリッジでは車が非常に少なく草原の中の小さな町や村がそれぞれ特徴を持っていて独自性を保っている。そうした環境の中で退職後の人達は理想的な形で人生をエンジョイしているのは羨ましい限りであった。

西東京クラブにとっては 今回の交換が初めての渡航となった。ホスト側のノウハウをいろいろ学習できたことは収穫であった。会員間の連携の良さ、準備する書類、普段の生活を全く変えないことがあげられる。参加者にもっと夫婦単位が増えること、アトラクションの出し物の選定とリハーサルにもっと時間をかけること、異文化に接するアンバサダーとしての心構えを事前にアドバイスすべきことなど次回の交換に際しての課題もあった。



FF本部からの感謝状

2002 年世界大会

石井 嗣代

11月7日からアトランタで開かれた第26回世界大会には、18ヶ国から約400人の参加者があった。折からジミー・カーター元大統領のノーベル平和賞受賞も伝わっており、お祭りムードを期待しての参加者も多かったと思う。しかし実際に蓋を開けてみると、それはカーターファミリーと決別する、新しい25年への旅立ちの会となってしまった。

理事会は大会の間何度もミーティングを持ち、今までの路線を堅持して、私たちは渡航と受け入れを通じて友情を広げ、世界平和に貢献していくことを確認した、と発表した。それは寂しい事ではあったけれど、もう70代後半となられたカーター夫妻をいつまでも当てにしているわけにはいかない時が来たのだ、と実感したのも事実である。

初代会長でファウンダー(創始者)のウエイン・スミスの娘さんの、スージー・スミスが新しい会長を引き受けたことも追って知らされた。10歳の時からFFを見てきた、FFとともに育ち一貫してボランティア畑を来た人である。

新しい25年の始まりを、希望を持って進めたいと思っている。

第16回日本大会

石田 充

2002年第16回日本大会は5月25日に三重県津市で開催されました。主催の三重クラブ会員を含めて160名が参集。FFI(本部)からは Executive Director の Constance Swank、交換担当の Debbie Powell の2人が参加しました。当日は12時30分より代表者会議、全体会議、交流会と続き、さらに22時までフリートークによる話し合いが続けられました。

会議、話し合いの内容は多岐に渡り、クラブの活動報告、活性化へのためのクラブ間の情報交換がありました。また、TFF全体に関わる組織・運営上の問題まで活発な討議が展開しました。

全体会議では参加者相互の交流・親睦が図られ連携が強化がされています。外国クラブとの交換を進めた他クラブの ED(交換担当者)の皆様と話げたのも意義がありました。

今回の日本大会には私1人の参加で、西東京クラブの存在を示すには不十分でした。次回の長崎市における日本大会にはより多くの皆様のご参加を期待します。(編集者注:長崎大会へは佐原さん、高垣さん、石田さんの出席が予定されています)

第19回 TFF アジア太平洋会議

佐原 泰子

今回のアジア太平洋会議は、6カ国 106名(日本のクラブからは56名)が集まり、5月13日~15日ソウルにて南ソウルクラブの主催で行われました。西東京クラブからは佐原泰子が参加しました。

南ソウルクラブのキム・キョンヒ会長の精力的なリーダーシップのもとに本部アトランタからは Ms.コンスタンス・スワンクと Ms.デビー・パウエルの参加もあり、アジア・環太平洋各クラブ間の親睦を深めました。またソウル市内を案内していただいたり、各クラブの意見交換などもありました。

その意見の中には、日本のクラブは会員も多く、活発であるからもっとアジア会議なども開催すべきとか、辛口の意見もありました。今後このような意見をもとに、アジア地区のフレンドシップフォースも発展・継続しなければいけないと感じました。

日本のクラブは皆熱心に活動を継続していますので、今後もアジアのフレンドシップフォースのお手本となっていくべきだと思います。2003年のアジア大会はニュージーランド・オークランドにて開催されます。会員ならどなたでも参加できます。皆さん、どんどん参加しましょう。



年会費納入のお願い

本会の活動は会員の皆様の温かいご支援によって運営されています。本年も更なる会の発展と活動のために、ご協力をいただかなければなりません。同封の「郵便振込用紙」により年会費 3,000 円の納入を4月末日までお願いいたします。(会則第6条)

編集発行: ザ・フレンドシップフォース・西東京
事務局: 東京都町田市つくし野4-13-3
佐原 泰子

Tel : 042-795-2245 Fax : 042-795-4022